

Kadai さん専用論述勉強法

質問ありがとうございます。論述についてお答えしていきます。

論述問題は、何が問われているかを見抜く力、何を書けばいいか選ぶ力、書く力の3つが必要です。

しかし、そんなに難しく考えなくても大丈夫です。論述問題は、この最初の二つの力が付いていればあとは書く練習をするだけです。

対策をし始めるタイミングとしては、理解と暗記で、教科書に書いてあることを説明できるレベルまで達した時ぐらい。阪大の場合ですと、論述が多い傾向にあるので、夏休みが終わるくらいまでに、基本的な暗記、理解を済ませ、論述問題をやりながらブラッシュアップしていくのがいいかなと思います。

短めの論述から練習できる参考書で、自己採点できるものがおすすめです。いちいち先生に見せに行くのは少し面倒です。

勉強の進め方としては、問題を見て、何が問われているか、何を書けばいいかを考え、まずは構成を書き出します。

例えば、十字軍の目的、経過と結果、影響を論述しなさい。

何が問われているかをまず考えます。問題を出す側は何を求めているか。そうですね。十字軍をしっかりと理解しているか、です。

問われていることが分かればあとは、

セルジューク朝

クレルモン公会議

聖地の奪還

第一回は…

などと知っていることを書き出していただけます。

注意して欲しいのは、答案をいきなり書き出さないことです。いきなり書き出すと絶対に問われていることを見失ったおかしい答案になります。

だから書き出す前に、答えになりそうなワードや文を書いて構成します。

頭で考えていることって結構ぼんやりしていますが、書き出してみるとスッキリして考えやすくなります。

もしも、何を書けばいいか分からないのならば知識不足なので、整理、理解、暗記に戻って勉強して下さい。なぜ、どのように出来事が起き、どんな人物がどのように関係しているのかを整理しながら読んでみましょう。

理解できたら、自分で問題をつくってみて、暗記につなげましょう。用語ばかり暗記してしまう傾向にあるならば、ちょっと自分で説明してみるような問題をつくってみて下さい。

例えば、十字軍はなぜ起きた？とか 30 年戦争でフランスはなぜプロテスタント側についた？とかですね。

Why や How を中心につくってみてください。答えは短めの方が勉強がおっくうにならないのでオススメです。そのような問題をノートに書きためていくと自分専用の参考書ができます。試験当日にもっていくと結構安心感がありますよ。

文章を書くフェーズに入ったら、、、
構成がしっかりできたら、一気に書いていきます。「です。ます。」ではなく「である。」を使い、途中で急に「ですます」が出てこないように気をつけてください。

文章を書く際は、なるべく短い文で、主語と述語がはっきり分かるようにして下さい。何が書いてあるか分からないと減点されます。

答え合わせをし、自分に足りていない部分を見つけ出します。知識の補強や問題点の克服をし、それが終わったら、もう一度解きます。

こんな風に論述問題の練習を進めて、穴があれば知識を補強するというのを繰り返して下さい。

慣れてきたら、文字数を増やしていきましょう。結構書けるようになってきたな、と思えてきたら、過去問に着手します。過去問を演習した後は、学校の先生に添削してもらってください。

添削は今まで気づかなかったことに気付けるので非常に有効です。

先生に頼みに行くのが苦手な人はオンラインで添削をしているサイトもあるので、そちらを使って下さい。間違っても解きっぱなしだと自己満で終わってしまうので危険です。

添削してもらったら何が欠けているのかをしっかりと把握して、それを克服(整理、理解、暗記)し、過去問をもう一度解きます。こうやってやっている则だんだん実力がついてきます。

どんなに血迷っても、**模範解答のまる覚え**はしないようにして下さい。試験に同じ問題は出ないですし、ちょっとひねった問題がでると絶望です。

知識と書き慣れがポイントですので、どちらが欠けているか分析してみしてから、勉強計画を立ててみて下さい。

また、質問して下さいね。

